

組合 NEWS

Faculty and Staff Union of Kanazawa University
金沢大学教職員組合執行委員会
金沢市角間町
Tel.076-262-6009(FAX同じ) / 角間内線2105
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホームページ <http://www.ku-union.org/>

2014年2月7日

通巻1209号

この号の内容

- 「超然館」情報 1P
- 教員の採用・昇任基準 2P
- 投稿メッセージ 賃下げ問題 3p
- 学習会 技術職員の処遇改善 4P

知っていますか「超然館」？

1月8日付のe-Acanthusによると、本学は澁谷工業株式会社から、第四高等学校ゆかりの「超然館」という施設の寄贈を受けるとのことです。完成予想図から判断すれば、どうやら総合メディア基盤センターの南に建設されるようです。まずは四高最後の入学生である澁谷弘利社長の母校愛に敬意を表したいと思います。

ところで、澁谷工業から寄贈を受けるのは1億円で建設される建物です。しかし、「超然館」は単なるモニュメントではありません。e-Acanthusに「講義施設」とありますから、教室としての機能を備えなければなりません。机や椅子は言うまでもなく、IT関連の設備も不可欠でしょう。そうした設備に関わる経費は大学負担になります。毎年、各部局からの施設・設備改善要求の大半にダメ出しをする大学が、「超然館」への経費投入に、どれくらいの予算を割くつもりなのでしょう。そもそも「超然館」建設事業はどの部署が責任をもって推進するのでしょうか。また「超然館」のあり方等について、私たちが意見を述べる機会はあるのでしょうか。さらに言えば、最も

「超然館」を利用すべき学生の意見を聴取する場は設けられるのでしょうか。おそらく一例として挙げられたのですが、「新生への学長講義」（1月10日付け朝日新聞）に使用する施設など、まったく不要な代物です。

澁谷社長の厚意を無にしないためにも、全構成員が「超然館」の建設を歓迎する態勢で事業を進めるのが大学の責任です。私たちも建設事業がどのように推進されるのか、注目する必要があると思います。それにしても、時流を追って補助金獲得に邁進する大学にとって、「超然館」とはなんとも皮肉な名称ではあります。



完成予想図（1月6日付けの金沢大学 News Releaseより）

* 詳細は、金沢大学のWEBページ上で確認出来ます。

* 事務局→広報戦略室→プレスリリースの一覧→「14.01.08 第四高等学校記念「超然館」寄贈式」の順に進みください。

次回の団体交渉は、2月10日 午後3時からです

(1) 臨時特例に係る給与減額問題 (2) 55歳昇給停止問題 (3) 現給保障廃止問題



理不尽な基準には、声をあげていきましょう

教員の選考基準に関する要求

昨年末に大学より示された教員の採用および昇任に関する選考基準案に対し、以下のとおり申し入れました。大学が示した基準（審査対象項目）は各学問分野の特徴を十分に反映しているとは言えないうえ、これまで大学が教員の本務として示してきた社会貢献等の比重が低くされるなど、理解しがたい点が多々あります。基準が不公平にならないよう、組合として大学に再検討を求めています。現在各部局で修正案が検討されていると思います。みなさん、どんどん意見を出してください。

2014年1月24日

国立大学法人金沢大学
教員人事会議議長 櫻井 勝 様

金沢大学教職員組合
執行委員長 矢淵 孝良

教員の選考基準等に係る要求

（略）昨年末に教員の採用及び昇任に関する選考基準の改正案が示され、さらに選考基準に基づく細則・内規の原案が示されました。しかし、具体的な審査項目を定めた内規中の別表を見ると、全学一律であり、各学問分野の特性を十分に反映しているとはいえません。また従来、教員の業務の三本柱の一つとされてきた「社会貢献」が「その他」扱いされるなど、理解しがたい点が多々あります。

現在各部局では大学案についての検討作業が行われているようですが、新基準作成についての大学の意図が明確に伝わっておらず、各部局ではその対応に混乱が生じると同時に、教員の間には大学に対する不信感が募っております。少なくとも分野ごとに大学案を説明する場を設けるとともに、構成員の意見を集約すべく、各部局および分野ごとにヒアリングを行うことを求めます。さらにまた現在検討されている各部局からの意見に沿って新基準（内規別表）について再検討することを求めます。

新基準は来年度から施行されるとのことですが、現状から判断すれば拙速の感を否めません。すべての教員が納得できるまで議論を尽くし、全学的合意を得た上で施行することを求めます。

**大学提案の新基準（審査対象項目）をご覧になりたい方が
いらっしゃいましたら、組合事務所までご連絡ください。**

金沢大学教職員組合 電話：262-6009〈角間内線2105〉 E-Mail：kanazawa@ku-union.org

賃下げ問題で 組合に寄せられた意見です

賃下げしてゆるキャラづくり？

臨時特例による給与カットで、一番納得がいかないのが、これによる復興財源の流用です。二年ちかく削られ続けた私たちの給与が、ゆるキャラの振興やら、ご当地アイドルのイベント、反捕鯨団体の対策費用、飲食店のガイドブック作成やらに湯水のように使われ消えて行ったことの空しさは、何ともやり切れません。このような使われ方がなされたことについては、大学に直接責任があるわけではないのかもしれませんが、しかし臨時特例法の抜け穴を知りつつ、また流用という事態が明るみになっても、大学が給与カットをし続けたことに、まったく責任がないわけではないでしょう。給与カットを止めることも「できた」わけですから。（教員）

仕事するにもお金がかかります

年末、ぽったり出会った本屋の亭主から「先生は最近、顔を見せないね」と言われ、給料が10%カットされている事情を説明したら、たいそう気の毒がられました（本屋は事情を熟知しているようでしたが）。資料に書き込みをしたり、ペタペタと付箋を貼りながら研究を進める私のような人間にとって、本や雑誌は私費での購入が不可欠で、例年100万円以上使っていましたが、去年は半分以下に減りました。本屋の言葉は「最近、研究していないね」に聞こえました。（教員）

退職手当のためならお金が出せるのに…

組合のニュースによれば、現給保障を継続するのに必要な経費は1億数千万円とのこと。退職手当の減額を緩和するために3億円を措置しながら、なぜ1億円が出せないのか、組合はきちんと問い質してほしい。（教員）

大学には説明する責任があります

被災された方のお役に立つならと、給料を下げられることに納得しようとしてきました。でもその思いを踏みにじったのが流用事件でした。1件や2件ではありません。本当に腹立たしく思います。復興のためでないことは周知の事実。あまりにも私たちをバカにしている。大学はきちんと本当のことを説明し、給料引き下げを止めてください。（事務系職員）

定年までモチベーションを落とさずに働ける制度を

55歳での昇給停止に反対します。定年65歳までの10年もの長期にわたって昇給がないような魅力のない職場で働きたい人なんていません。優秀な教員の確保だけでなく、大学院進学者の確保にも汲々とする事態になると大学にとってマイナスです。（教員）

私たちってまだ公務員？雇用保険料払っているのに

そもそも国家公務員法が適用されず、雇用保険を払わなければならない私たちに臨時特例法を遵守する義務があるのか、はなはだ疑問である。（教員）

学習会のご案内

技術職員の処遇改善に向けて

日時 **2月14日(金)**
18:00~20:00

**どなたでも
参加できます**
お気軽にご参加ください。

場所 **角間組合事務所**

お話 **中村昇二さん 三重大学技術職員**

技術職員部の組織化が実現している三重大学の技術職員をお招きしてお話を伺います。各部局の現状についても情報交換を行いたいと思います。みなさんのご参加をお待ちしております。

- 参加される方は組合事務所までご連絡下さい。(当日参加も大歓迎ですが準備の関係から事前にご連絡いただくと助かります。)
 - 組合員でない方の参加も歓迎します。是非まわりの方へお声をかけて下さい。
- *お弁当を準備いたします。**

申込先 **金沢大学教職員組合** TEL 076-262-6009 (FAX同じ) 内線(角間) 2105
E-mail kanazawa@ku-union.org

大学は、昨年9/4に実施した統一要求交渉において、技術職員の処遇改善に向けて、WGを設置して検討すると約束しました。

大学と確認していること

- 6級付与を技術職員に認めていない現行制度は望ましいものではないとの認識が示されました。
- その上で、総務、財務、技術職員などの関係者で構成されるWGを設置し処遇改善のための検討を開始することになりました。
- 法人化前は適用されていた個別の実績に応じて6級を付与することについても、以前の基準を確認した上で対応を検討することを約束しました。